

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年12月21日

事業所番号	2774600650	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 介護センターかがやき		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム かがやき	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	柏原市上市三丁目13番16号	評価調査日	平成 21 年 12 月 17 日
	電話 072-973-5105	評価確定日	平成 21 年 12 月 23 日

【情報提供票より】 (平成21年11月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年12月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	22 常勤 4人 非常勤 18人 常勤換算 13, 2人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨ALC造り 2階建ての1階～2階
-------	-----------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	42,000円	その他の経費	20,000円
敷金	<input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 250,000円	償却	有 5年 3月以内修繕費を引いた残額・4ヶ月～5年10万返金以後なし
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1日当たり 1400円		

(4) 利用者の概要 (21年11月現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	4名	要支援2	0名		
年齢 平均	84才	最低	74才	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人聖心会 大島医院 ・ 杉本歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

開設後5年目で職員の勤続も安定し、運営は職員全員で組織的に進める体制が確立している。職員の朝夕の交代時には全員が参加し、申し送り事項は、記録と、対話によって利用者一人ひとりの継続ケアが大切にされ、確実に実行している。これらのことが利用者に理解され、十分に活かされて、的確な介護となり、その積み重ねで利用者は毎日を笑顔で過ごしている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	地元自治会の方々との交流について運営者は、開設時から何かと配慮を重ねてきている。町内の自治会掲示板へのホームの行事案内等の掲示も、了承を得て適宜に利用している。又、近隣の住民との日常の挨拶以外に、特に、年末年始のご挨拶も毎年行っている。更に、運営者は職員の研修に配慮し、内部研修も続けながら、資格取得等でスキル・アップを奨励している
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	今回の自己評価は法人の総括業務者が、各ユニット職員と合議を重ねて作成している。運営者は、開設時から3年程は率先して介護の先頭に立っていたが、昨年前後からは現場に任せ、見守ることにしている。その結果、管理者をはじめ職員全員の意識改革が進んで、協力してケアに励むようになり、今年も無事故で過ごせたことを感謝している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は約2ヶ月ごとに開催している。内容はホーム運営の経過や行事の実施報告等の後、出席者との質疑応答があり、各委員からの情報提供、懇談等となって、介護向上に役立させている。今後は出席された委員を通し、地域の交流のきっかけが期待される
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	ご家族アンケートでは、回答者全員からご満足の回答を頂いている。又、ご家族の来訪時には職員が付き添って、参考になるご意向を承っているが、特に、今のところ緊急の要望等は伺っていない
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	地元、自治会とは掲示板の利用については了承されているが、それ以上の交流は行われていない。職員の個人的な知り合い等で、幼稚園、小学校等への働きかけをした結果、今年度も、中学生の体験参加があり、感謝の報告書を頂いている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な雰囲気の中で家事や趣味を通じ、住み慣れた自然の多い町で、共同生活を楽しむ」を理念としている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者、管理者と職員は、理念の実践を基として毎日の介護に当たっている	○	昨年よりレベルが上がっています、来年も初心を忘れずに励んで欲しい
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	少しずつ地域に溶け込んで行くよう努めている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年の外部評価結果について、年間を通して職員と共に、反省と改善策に取り組んでいる		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	ほぼ定期的に運営推進会議は開催されている。会議内容は行事等の報告と、出席者各位の質疑応答、各種の情報交流等をしている		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は利用者との散歩を利用して、市役所のご担当者を探ね、挨拶を兼ねて話し合い、情報交換を行なっている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族には個別に連絡帳を用意して利用している。又、電話による連絡もよく行い、毎月1回はホーム便りを発行している		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族にも、運営推進会議への出席を依頼している。運営に関するご希望や苦情等の、承り担当者も定めている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	見直し期間ごとに職員と症状の変化の有無等を検討し、必要な計画を作成している		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族の事情に合わせて柔軟な支援を行なっている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	掛かりつけの医師には、月2回の往診を頂いている。認知症については別途、神経科医師の往診を頂いている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとしての方針は、職員と共有している。個別の対策については、ご家族の要望も含めて柔軟に対応している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	日常的に職員と言葉遣いについては注意し合っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの業務の流れを優先することなく、一人ひとりの希望に柔軟に対応している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	高齢者用メニューとして、個人ごとに対応している。利用者のお手伝いは、可能な場合にしている。体重管理も出来ている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴は隔日としているが、希望に応じて対応している

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		一人ひとりの希望に合わせて、楽しみごとの支援をしている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		体調や天候に合わせて散歩を支援している。又、敷地内の屋外で気晴らしのお茶会などで楽しんでもらっている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		玄関ドアの鍵掛けは行っていない
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		防災マニュアルは職員に周知させている。又、年2回、消防署員の指導による避難訓練を実施している

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食材料店より栄養士によるメニューを利用している。摂取量は水分と共に管理している
--	----	----	---	--	---

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		共用室は日当たりも良く、明るい雰囲気となっている。4人用の机・椅子セットが数セットあり、好みの楽しみ方で利用している。
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		居室は部屋ごとに、カーペットとカーテンに同じ色がセットとされている。色は部屋ごとに異なり、同じ色の部屋が無いようにしている。誰かが部屋を間違えても、直感的に気付くように考えている